

# 30年後の未来を見据えた政治を。



## プロフィール

- 1994年3月23日生まれ
- 広陵西小/広陵中/畷傍高校/大阪大学法学部
- 2016年ITベンチャー企業(株)エクス入社
- 2019年First Step開業(主にIT事業を手掛ける)
- 2024年広陵町議会議員選挙 2期目当選

30歳 最年少広陵町議会議員

# ちぎた 慎也

## もくじ

- 激動の2024年から2025年へ
- 30年後の未来を見据えたビジョン必要!
- ゴミ袋半額のお願いについて
- ゴミの出し方が変わります
- チギトーーク

↓ SNSでも発信中! ↓



YouTubeでも発信中!

活動報告会



視聴は →  
こちら →



2025年3月1日(土) 21時~22時

チラシの内容・時事問題・最近の活動等をお話します。  
アーカイブも残します!コメントお待ちしております!

座談会しましょう! どんなテーマでもOKです!

まちづくりのこと、町のこと、政治に対してモノ申したい!  
広陵町内ならどこでもいきますので、気軽にお声がけください。

ちぎたの一般質問

質問1 次の世代を見据えた  
広陵町の将来ビジョンは



詳細はQRコードから!

みなさま、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。今年は「乙巳(きのと・み/いっし)」年ということで、新しい挑戦や転換がテーマになる年、であったりとか、如何なる抵抗にも負けず、革新の歩み・行動を正々堂々と起こして行かなければならない年、といえるそうです。

昨年は、大きな選挙がたくさんあり、政治のあり方、メディアやSNSのあり方について考えさせられた一年でした。政治に対するみなさまの期待やイメージをすぐには変えられないと思いますが、「政治は地方から変えられる!」との想いを改に、今年も地道に活動いたします。

# 激動の2024年から2025年へ。

さて、みなさまにとって2024年是什么样的な一年だったでしょうか。個人的には、まさに「激動」というのか、カオス、というのか、なんとも消化するのに時間がかかる一年でした。まず、1月1日の能登半島地震。地震はいつどこで起きるか分からないことを痛感し、何度か現地でボランティアにも参加しました。2025年は阪神淡路大震災から30年の節目の年です。今一度、災害への備えを見直す必要性を痛感したと同時に、大規模災害を想定した広域支援体制の構築が必要と感じました。また、様々な重要な選挙が行われまし

た。特に、東京都知事選挙、アメリカ大統領選挙、兵庫県知事選挙、そして衆議院議員選挙が印象的でした。東京都知事選挙では、AIエンジニアの安野貴博さんがIT技術を活用した新たな“広聴”や民主主義のあり方を提案されました。アメリカ大統領選挙では、日本国内で報道されていた選挙情勢と結果のギャップに驚きました。兵庫県知事選挙では、SNSが及ぼす影響力やリスクを痛感し、何よりも情報を判断する能力(リテラシー)がより重要になっていると感じました。衆議院議員総選挙では、政権与党である自由民主党への国民のみなさまか

らの厳しいご意見を感じ、国民民主党が掲げた「手取りを増やす」というスローガンへの共感の広がりから、若者をはじめ、いかに物価高の中で社会への閉そく感や生活の難しさを感じてらっしゃるのか、を知りました。

「地」-そんな激動の2024年を受けて、私の今年のスローガンは「地」に決めました。メディアもSNSも、何が本当か見極めるのが本当に難しい時代です。そんな時代だからこそ、「地」道に、「地」に足のついた活動を続けて、「地」域から、社会を変える。そんな取組を愚直に続けていけたらと思います。



## 30年後の未来を見据えた ビジョンが必要!

今回の一般質問では、広陵町のこれからの人口動態に触れ、人口が減っていくなかで、これから広陵町はどのようにまちの運営をしていくべきか、議論いたしました。

### 2060年には広陵の人口は 2万5千人を切る?

第2次広陵町人口ビジョンによると、広陵の人口は2045年には3万人を切り、2060年には2万5千人を切るとの推計があります。1991年に約2万5千人、2021年に約3万5千人と30年で約1万人の人口が増えたことを思えば、次の約30年で、ほぼ同じペースで人口が減ることになります。広陵町は今まで経験したことがなかった、本格的な人口減少局面に突入するという事です。

また、生産年齢人口を2021年と2060年で比較すると59.2%から50%になり、老年人口は26.3%から38.2%と、年齢構成も大きく変わることになります。当然、税収が減ることが見込まれますし、日本全体で人口が減る中で、国からの地方交付税の規模がこれからも維持される保証はありません。

### 行政も行政サービスの あり方も変わってくる。

そうなれば、今までと全く同じように行政サービスを提供し続けるのは常識的に考えて不可能です。例えば、行政サービスの縮小や変更、公共施設の統廃合も必要になるかもしれません。あるいは業務の手続きを見直すことで維持できるかもしれませんが、いずれにせよ今と全く同じまま維持し続けることは難しくなります。実際に、広陵

町公共施設等総合管理計画には、対象となる公共施設を延床面積ベースで20%削減することを目指しています。

### 減らすときに

#### 必要なのは「対話」

どうしても、まちを維持していくために変更、縮小しないといけない事業もあると思います。そんなときに必要なのは「対話」ではないでしょうか。閉めないといけない理由をいくら「説明」されても、なかなか腑に落ちないかもしれません。ですが、前もってまちの状況を「共有」し、みなさんの施設の利用状況をお聞きし「対話」を重ねていけば、「共感」を得られ「納得」いただけるのではないのでしょうか。兵庫県芦屋市では、テーマを決めて、各地域で「対話集会」を開き、市長自ら会の進行をされるそうです。これも新しい合意形成のあり方で、これからはこのような手続きが必要になるのではないのでしょうか。

### ゴミ袋半額の請願について

令和6年12月議会に「広陵町の有料ゴミ袋を半額にすることを求める請願」が代表者及び賛同者66名の賛同のもと提出されました。私は、この請願に反対の立場を取りました。

実は、令和4年3月にも全く同趣旨の請願が提出されており、その際「広陵町ごみ減量等推進審議会の再開を求める決議」を行い、広陵町ごみ減量等推進審議会を再開し「住民の作業や金銭的な負担への配慮及び町財政等を考慮した総合的な視点から、指定ごみ袋の価格について慎重に検討すること。」と求めています。そして、今まさに議論がなされており、近く結果が公表される所です。そうした経緯も踏まえると、決議に基づき審議会での議論の結果が出されようとしているタイミ

ングで、数年前と全く同趣旨の請願を出していただいてもあまり効果はないのでは、という考えで反対いたしました。

一方で、ゴミ袋の値段自体は、1Lあたりいくりに設定すればゴミの減量効果が維持されるのか、という点(広陵町は現在1Lあたり1円)なども含めて検討する余地があると考えています。

↓ 今回の ↓  
↓ 請願の ↓  
↓ 内容 ↓



↑ 令和4 ↑  
↑ 年3月の ↑  
↑ 付帯決議 ↑



↓ ごみ減 ↓  
↓ 量等推 ↓  
↓ 進審議会 ↓  
↓ 議事録 ↓

### ゴミの出し方が変わります

広陵町では令和7年4月からごみの分別・回収方法が一部変更されます。主な変更点は以下の通りです:

- ・リサイクルステーション廃止: ペットボトル・空き缶・空きビンが戸別収集に変更。
  - ・分別簡略化: 空き缶はアルミ・スチールの分別不要、空きビンも色分け不要。
  - ・その他プラスチックごみ: 燃やすごみと一緒に収集し、回収頻度が月1回から週2回に増加。
  - ・スプレー缶: 燃やさないごみと分けて透明袋で出す必要あり。
  - ・小型家電: 専用の収集日を設定。
  - ・鏡: 有害ごみに分類。
- 新しい「ごみ分別ガイドブック」が配布されるため、詳細はそちらをご確認ください。

## ちぎたの読書のノート

私、ちぎた慎也がいいな~と思った本(やその他のコンテンツ)についてご紹介するコーナーです。第九弾はこちら! 泉房穂さんの

### 『社会の変え方』

泉氏は前明石市長として、5つの無料化、という子ども施策を中心に市政を運営されました。そんな泉前市長がなぜ市長になろうと思ったのか、優しい社会を実現するため、社会を変えたい! という想いでどのように活動をしてこられたのか。泉さんの想いのまっすぐさに胸が熱くなるおすすめの一冊です!



## チギトーーーク

新しい年になりました。今年の元日はお天気がよくて、あ~良い一年になりそうやな~! と感じられるような幕開けでしたね! 今年はより「対話」を大事にする一年にしたいと思います。SNS等での発信やコミュニケーションも大事なのですが、やはり、地域のみなさんお一人おひとりと顔を合わせてお話をさせていただくことが一番大事で、これがやっぱり政治の原点だと改めて感じています。日頃のお困り事、これから挑戦したいこと、最近嬉しかったこと、はまっていること。なんでも聞かせてください。どこにでも行きますので、ぜひお気軽にお声がけください。

そうそう小さな挑戦ですが3月にハーフマラソンを走ることになり、現在練習中です! 走り切れるか不安ですが、ベストを尽くします! さて、みなさんは2025年をどんな一年にしたいですか? ぜひ聞かせてください。